

然るに（ども）猪飼依之人をむすも捨ざし。備小令せられまば。
 祭向て才を移小まを忠義を竭し。南さん小と望むバ信也。
 感悦せらる。時小右近（今せらる）新目代とて。織田甲
 斐也と遣まらる。公士彼是一千余人。別小佐藤の為とありて。
 遠公五百有余人。頃ハ十月廿五日。月なき夜。小坂本浦より出
 帆。望田浦小着らる。猪飼馬場依と案内者とし。て
 浅井朝倉が糧と貯らる。望田寺へ推進せ。不意小右投
 四角八面小難遠ま。敵公二百人をう。遠地と守らる。
 是事由へ坂井が勇公小斬起らる。慌忙と逃散小を。右近及尚
 軍發し。と。彼に。繞る寺内小入。敵の公糧と自公。不食
 こと。諸卒小こを。頒賜この旨。小坂本へ。信伸。ま。信也。

掌と拍く悦まらる。是坂井が武功と感賞せられぬ。義系長政の
 西將ハ自軍の公糧と敵小棄ま。剋望田も敵地とみれど。
 小谷越前。の通海と塞ま。往來自由らる。由（君臣共小
 こを）と。憇ひ。評議。と。浅井長政。軍事小長。大將
 公。朝倉。諸將小若く。謂や。望田（加勢の来らぬら。新
 の。曉ぬ。際と。壁。便小自軍多勢と。りて。望田（推進せ。敵公。業と
 段。捉らん。小。猪。利と。得む。こと。各。いふ。と。重。され。ま。

朝倉武部。山崎。長門。中。依。遠。義。奇。計。小。あり。と。て。先。陣。と
 稟。請。ら。る。由。義。系。も。こ。小。同。新。倉。系。境。中。村。壺。之。助。依。と。大
 將。と。て。こ。十。余。人。と。先。陣。ら。し。め。後。陣。ハ。浅。井。の。勇。將。と。赤。尾
 氏。他。也。同。助。分。田。色。平。内。沙。井。新。九。郎。大。野。木。又。八。郎。依。二。千。余